

講演会来聴者アンケートの結果

講演：西澤笛畝とその周辺の人々

講師：小林すみ江氏（人形史研究者）

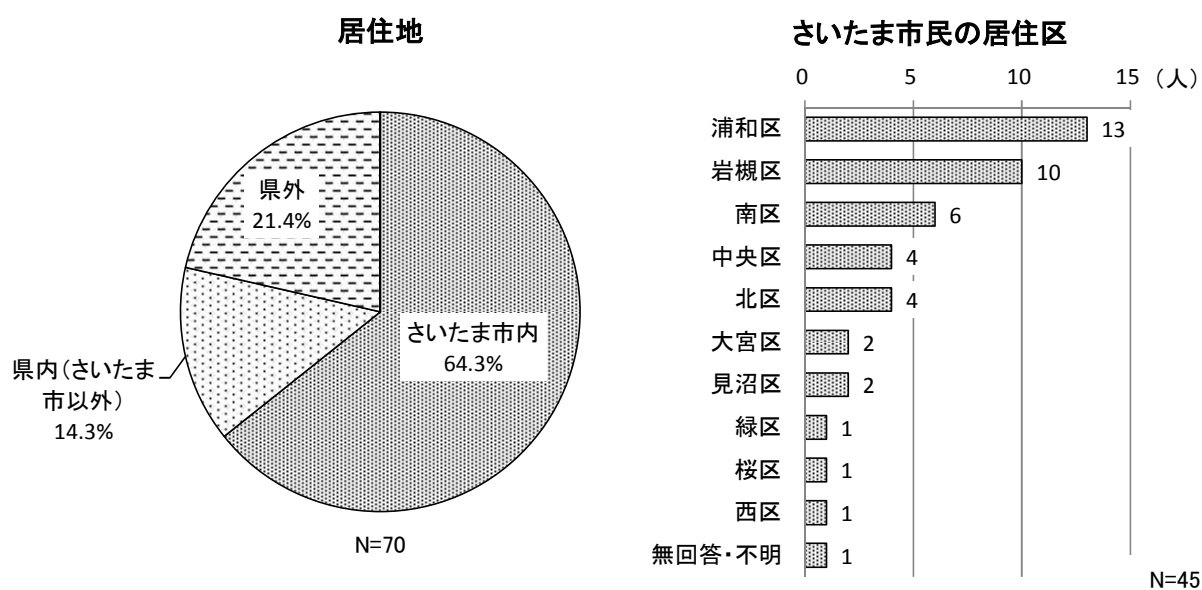
日時：平成27年3月1日（日） 13：30～15：00

場所：市民会館うらわ コンサート室

問1 居住地

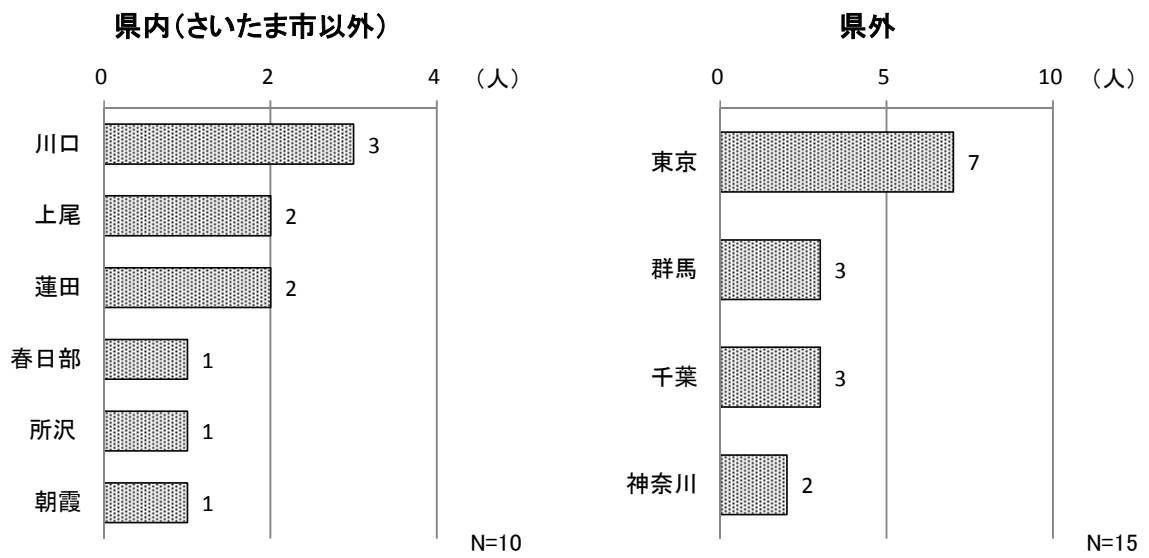
アンケート回答者70人のうち45人（64.3%）がさいたま市民であった。

区別では、浦和区の13人（さいたま市民の28.9%）が最も多く、次いで、岩槻区10人（同22.2%）、南区6人（同13.3%）、中央区と北区がそれぞれ4人（同8.9%）であった。



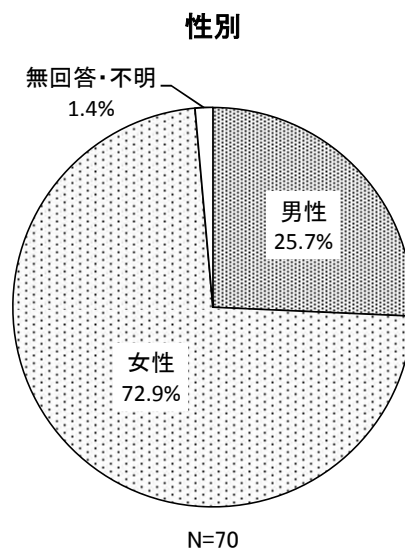
さいたま市以外の県内は10人（14.3%）で、その内訳では、川口市（3人）、上尾市（2人）、蓮田市（2人）などであった。

県外は15人（21.4%）で、東京都が7人、群馬県と千葉県が各3人、神奈川県が2人であった。



問2 性別

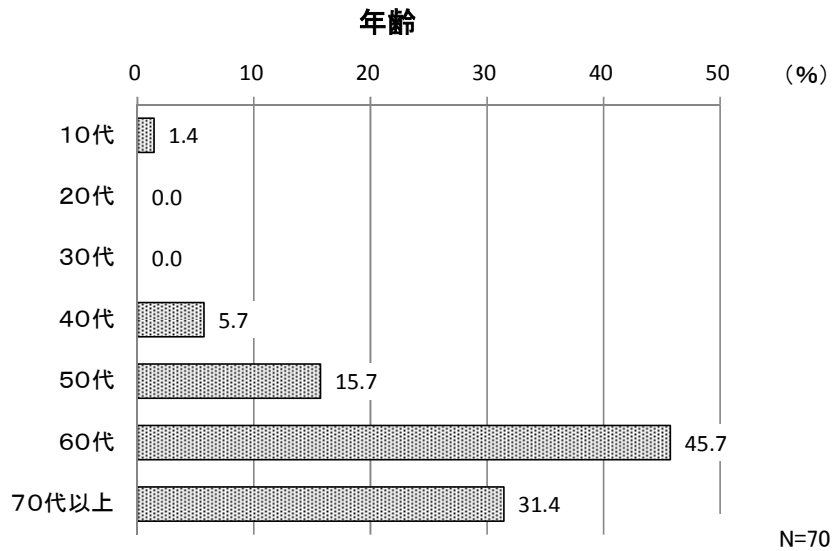
女性が全体の72.9%を占め、男性は25.7%であった。



問3 年齢

60代が全体の45.7%を占めて最も多い。次いで70代以上が31.4%で、60歳以上が全体の77.1%を占めている。

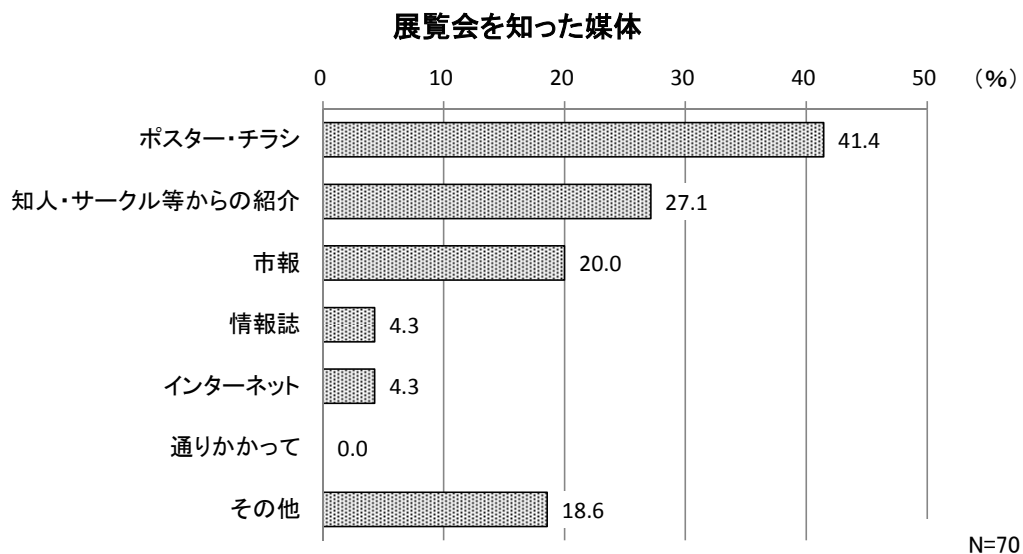
一方、40代以下は7.1%（5人）にとどまり、20～30代の来聴者はいなかった。



問4 講演会を知った媒体（複数回答）

「ポスター・チラシ」が41.4%で最も多い。次いで「知人・サークル等からの紹介」が27.1%、「市報」が20.0%の順となっている。

「その他」では、市からの案内（6件）が多かった。

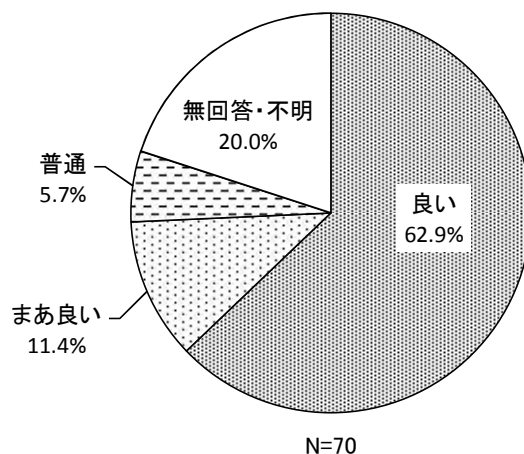


問5 講演会の内容等について

講演会の内容等に対する評価では、「良い」が62.9%、「まあ良い」が11.4%で、全体の74.3%が満足傾向を示している。

「普通」は12.7%、「良くない」あるいは「あまり良くない」は0.5%であった。

講演会の内容等について



問6 今後の講演会の希望（自由記述）

人形文化に関連するテーマの希望が多かった。詳細は以下のとおり。

・人形文化について（6人）

習慣、人形・玩具の歴史、人物、技術の変遷、外国との交流の歴史、岩槻の歴史など

・現代の人形について（2人）

製作状況、作家、人形産業など

・雛人形の道具製作（2人）

材料、製作の苦勞、後継者など

・笛畝関連の催し（2人）

その他

- ・人形の魅力について
- ・全国の郷土玩具について
- ・御所人形について
- ・青い目の人形について
- ・答礼人形について
- ・修復（復元）作業について
- ・雛人形だけでなく、他の人形玩具について

問7 その他感想や要望（自由記述）

自由記述のなかでは、小林先生の講演に対する評価の声が多かった。

講演会の進行については、小林先生ならではの専門的な内容を期待する向きから、講演の時間が短いという意見があった。

【自由意見の概要】

・小林先生のお話良かった。（11人）

とても興味深い、勉強になった、貴重な話しが聞けた、面白かった など

・全体の進行についての意見（5人）

質疑応答が楽しかった。（2人）

司会進行や時間配分が悪く、もっと林先生のお話を聞きたかった。（3人）

・（仮）人形会館の開館、笛畝のコレクション展示を期待している。（4人）

・スライドが見にくかった。資料を配付して欲しい。（2人）

・素敵なパンフレットやクリアフォルダーがもらえて嬉しかった。（2人）

その他

・人形が大好きになった。

・人形の歴史や作者のことや、人との関わりのことを、もっと知りたいと思った。

・雛遊びから人形文化への流れなどについて話して欲しい。

・今後もこのような講演会を企画して欲しい。

・文化施設建設準備とはどんな文化施設のことか。もっとPRした方がよい。

・美術館専用エレベーターが動かなかった。仕方なくエスカレーターで3階まで行くと、美術館に行く通路がなかった。